

W110の特長

この時計は時刻・カレンダー表示機能のほか以下の機能がついています。

ストップウォッチ機能
1/1000秒単位で99時間59分59秒999まで計測できます。スプリット機能もあります。グラフィック表示で計測中の動きが楽しめます。

マルチアラーム機能
3チャンネルの24時間制デリーアラームです。1日に1回鳴るアラームを3チャンネルセットできます。サウンドデモンストレーション機能でアラーム音を試し聴きできます。

タイマー機能
1分単位で設定できます。最大99時間59分までセットできます。残時間は1/10秒単位で表示します。

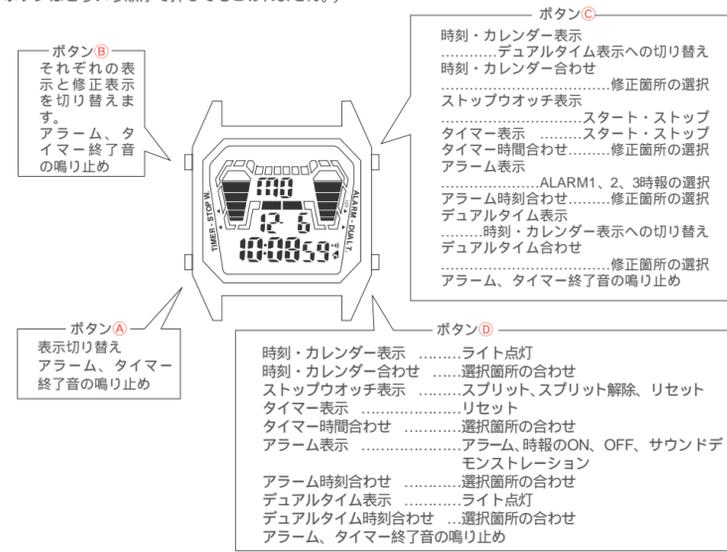
デュアルタイム機能
異なる1地域の時刻を設定・表示することができます。

オートカレンダー機能
うるう年の2月29日を除き、月末のカレンダー修正は必要ありません。

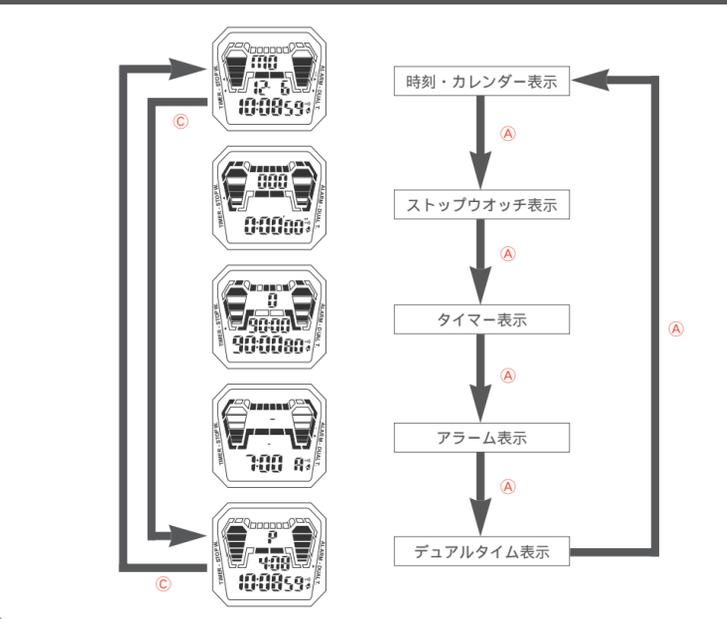
ライトつき

各部の名称とはたらき

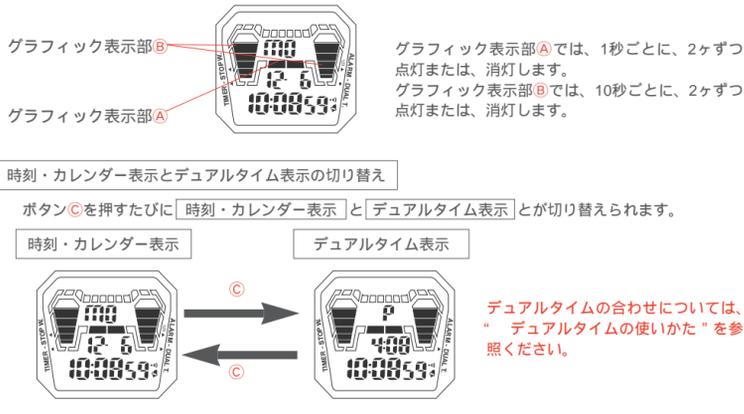
(ボタンはどのような順序で押しでも構いません。)



表示の切り替え

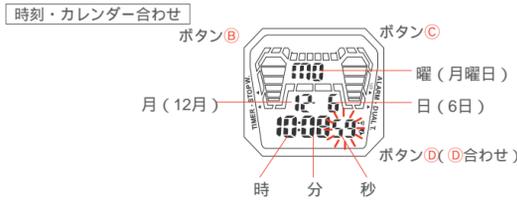


時刻・カレンダー表示について



時刻・カレンダー合わせ

- 時刻・カレンダー表示の時ボタンBを押すと時刻・カレンダー合わせとなり秒桁が点滅します。(この時グラフィック表示部が全て消灯します。)
- ボタンCを押して合わせたい箇所を点滅させボタンDで合わせます。



ボタンDを押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。(押しつづけると早く進みます。)

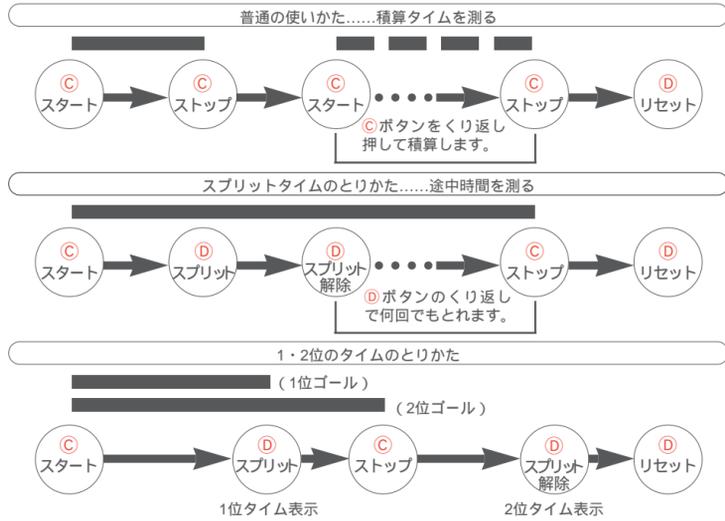
(秒合わせ) 秒 を点滅させ時報に合わせてボタンDを押すと00秒に合います。秒 が30~59秒に時ボタンDを押すと 分 が1分くり上がって00秒に合います。

- 合わせ終わったらボタンBを押して時刻・カレンダー表示に戻してください。なお、時刻・カレンダー合わせの状態では1~2分間放置しますと、自動的に時刻・カレンダー表示に戻ります。

ストップウォッチの使いかた

このストップウォッチは1/1000秒単位で99時間59分59秒999まで計測できます。スプリット機能もあります。

- ボタンAを押してストップウォッチ表示にしてください。
- ストップウォッチ表示マーク
- グラフィック表示部
- 「SPLIT」: スプリット計測の際表示します。
- 1/1000秒
- アラームマーク
- 時報マーク
- 時 分 秒
- 使う前に0秒に戻してください。計測が続いている場合: ボタンCを押してから、ボタンDを押します。計測時間が残っている場合: ボタンDを押します。



タイマーの使いかた

1分単位で99時間59分までセットできます。1度セットしたタイマー時間は何回も呼び出して使えます。計測時間(残時間)は1/10秒単位で表示します。

- タイマー時間の合わせかた
- ボタンAを押してタイマー表示にしてください。
- タイマーが動いている時は...ボタンCを押して表示をとめ、ボタンDでリセット。タイマーがとまっているときは...ボタンDでリセット。
- 設定時間
- タイマー表示マーク
- 時 分 秒
- ボタンBを押してタイマー時間合わせにしてください。<時>の桁が点滅します。
 - ボタンCを押すごとに、点滅する桁が変わります。修正したい桁を選んでください。(点滅しているところが修正できるところです)
 - ボタンDを押して修正してください。押し続けると早く進みます。
 - 合わせ終わったら、ボタンBを押してタイマー表示にします。タイマー時間合わせ状態では1~2分間放置されると、自動的にタイマー表示に戻ります。
- タイマーの使いかた
- ボタンCを押すたびにスタート、ストップができます。(この操作は何回でもできます)
 - 残り3、2、1秒で報音し、0秒~10秒間タイマー終了音が鳴ります。タイマー終了音はボタンA、B、C、Dのいずれでもとめられます。
 - ストップ状態からボタンDを押すと、プリセットされます。一度設定した時間は、修正するまでそのまま保持され、何度でも呼び出して使うことができます。

アラーム時刻の合わせかた

1日1回鳴るデリーアラームを3チャンネル設定できます。ALM1~ALM3の3チャンネルのアラームは独立して鳴鐘のON、OFFが可能です。

- アラーム時刻の合わせかた
- ボタンAを押してアラーム表示にしてください。
- アラームNo.
- アラーム表示マーク
- 午前マーク(午後は「P」)
- アラーム表示マーク
- 時報マーク
- 時 分
- ボタンCを押すごとに下の順序で切り替えます。アラームNo.または時報の設定を選んでください。
- ALM1
- ALM2
- ALM3
- アラームNo.1
- アラームNo.2
- アラームNo.3
- 時報表示

- ボタンBを押してアラーム時刻合わせにしてください。時報表示の場合は、ボタンBを押してもそのままです。ALM1を選んでアラーム時刻合わせにした場合
- ボタンCを押すごとに点滅する桁が替わります。



- ボタンDを押して修正してください。押し続けると早く進みます。
- アラームの設定ができましたら、ボタンBを押してアラーム表示に戻してください。
- さらに違うチャンネル(No.)のアラーム時刻を設定する場合は、②から⑥の順序で設定します。

アラーム、時報を鳴らしたいとき、鳴らしたくないとき

- アラーム表示において、ボタンCにてアラームNo.(ALM1~ALM3)または時報表示を選びます。(前項を参照のこと)
- 選んだアラームNo.において、ボタンDを押すごとに「鳴る」(アラームマーク が点灯)・「鳴らない」(アラームマークが消灯)の設定ができます。(時報も同様にONとOFFで設定します)このときボタンDを押し続けるとアラーム音の試聴ができます。(サウンドデモンストレーション)アラームは20秒間鳴ります。鳴っているアラームはボタンA、B、C、Dいずれでも止められます。

こんな特殊な表示にご注意ください。(通常のご使用には関係ありません)

- 時刻・カレンダー合わせの状態では操作して右図のような表示になることがあります。(C、Dボタンを同時に押した場合)この表示は調整する際利用するもので、故障ではありませんので、ボタンA、B、C、Dいずれかを押し戻して時刻・カレンダー表示に戻してください。
- 全点灯表示
-

デュアルタイムの使いかた

時刻の異なるもう一つの地域をセットできます。(但しカレンダーは表示されません)

- ボタンAを押してデュアルタイム表示にしてください。
- デュアルタイムの午後マーク(午前は「A」)
- 時刻カレンダー表示からはボタンCを押すことでデュアルタイム表示になります。また、デュアルタイム表示からもボタンCで時計・カレンダー表示になります。
- デュアルタイム
- デュアルタイム表示マーク
- 基本時刻
- ボタンBを押すとデュアルタイム合わせとなり時桁が点滅します。
 - ボタンCを押して、時桁または分桁を選択し、ボタンDでセットします。
- 時
- 分
- +1時/1押
- +1分/1押
- ボタンDを押すと点滅しているところの数字が1つずつ進みます。(押しつづける早く進みます)
- 合わせ終わったらボタンBを押してデュアルタイム表示に戻してください。なお、デュアルタイム合わせの状態では1~2分間放置しますと、自動的にデュアルタイム表示に戻ります。